

2015年度第1四半期 IR決算説明資料

2015年7月30日

日本テレビホールディングス株式会社

**本説明会及び資料の内容には、
将来に対する見通しが含まれていることがあります。
しかし、実際の業績は、
さまざまな状況変化や要因により、
これらの見通しと
大きく異なる結果となり得ることがあり、
何らの保証やコミットメントを
与えるものではありません。ご了承下さい。
また、本資料の無断転載はお断りいたします。**

連結 売上高・利益

(百万円)

	2014年度 第1四半期	2015年度 第1四半期	増減率 (%)
売上高	85,096	100,283	17.8
営業利益	8,561	12,411	45.0
経常利益	10,703	14,347	34.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,492	8,144	25.4

日本テレビ放送網(単体) 売上高・利益

(百万円)

	2014年度 第1四半期	2015年度 第1四半期	増減率 (%)
売上高	70,741	73,377	3.7
営業利益	7,826	10,656	36.2
経常利益	9,030	17,709	96.1
四半期純利益	5,680	12,609	122.0

テレビ広告収入 -地上波放送(日本テレビ放送網)-

(百万円)

	2014年度 第1四半期	2015年度 第1四半期	比較	増減率 (%)
放送収入	58,840	59,210	370	0.6
タイム	28,023	27,436	△586	△2.1
スポット	30,816	31,773	957	3.1

(前年同月比 %)

タイム	2014年度	2015年度
4月	2.4	0.7
5月	0.3	6.7
6月	10.0	△12.9

(前年同月比 %)

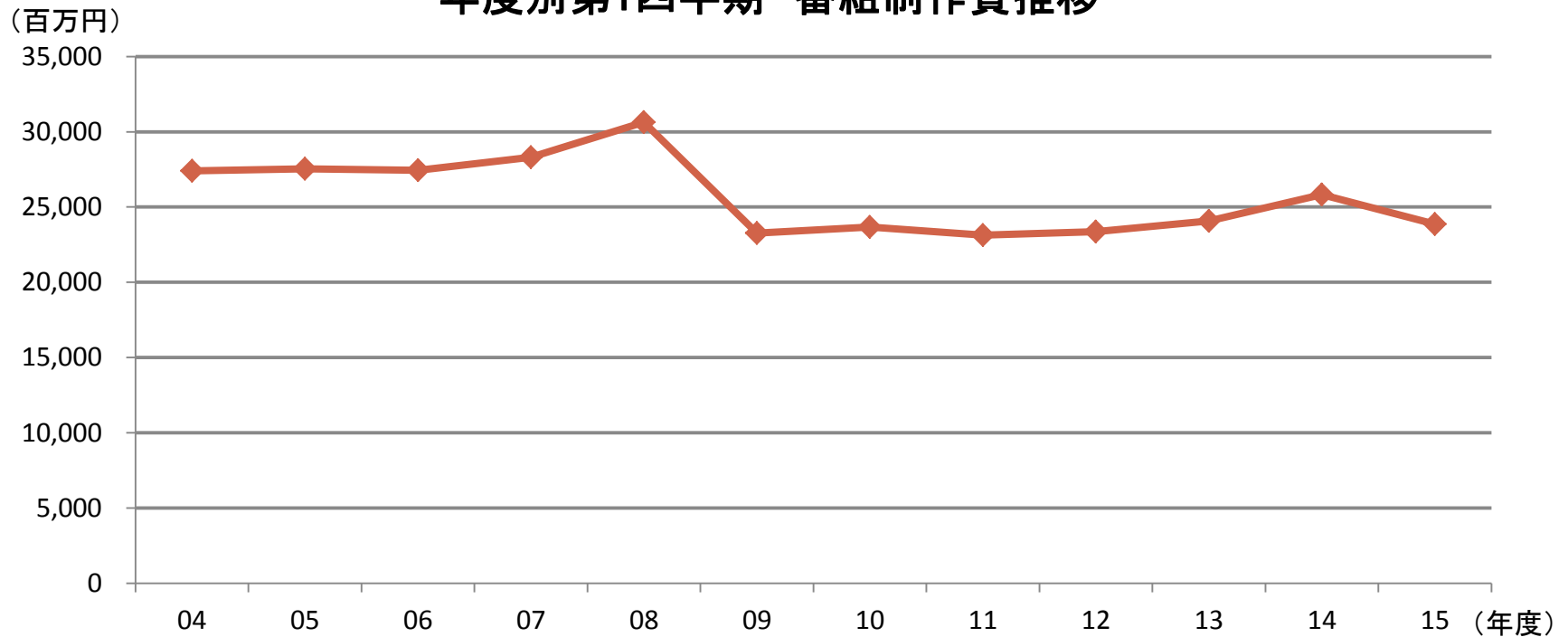
スポット	2014年度	2015年度
4月	△1.0	7.3
5月	15.1	1.9
6月	5.0	0.2

番組制作費 -地上波放送(日本テレビ放送網)-

2014年度 第1四半期	2015年度 第1四半期	比較	増減率(%)
25,825	23,865	△1,959	△7.6

(百万円)

年度別第1四半期 番組制作費推移



主な事業収支の概況 - 日本テレビ放送網 -

(百万円)

第1四半期		収入	費用	収支
映画事業	昨年	1,591	1,575	16
	当期	2,539	2,581	△43
通販事業	昨年	2,090	1,975	115
	当期	2,213	2,047	166
イベント事業	昨年	998	1,003	△5
	当期	1,460	1,249	211

主なグループ各社の状況

2015年度第1四半期 (百万円:未満切捨)	売上高		営業利益		経常利益		当期四半期純利益	
	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)
BS日本	3,695	1.8	260	△49.2	276	△48.0	178	△44.5
シーエス日本	1,217	△10.8	184	72.1	189	66.9	136	220.1
日テレ・テクニカル・リソース*	2,718	10.3	17	△48.4	25	△42.3	15	△42.9
日テレ アックスオン	4,592	△10.6	189	△44.9	195	△44.3	126	△42.7
日テレイベンツ	502	△4.4	0	△89.9	2	△72.8	1	△75.0
日本テレビアート	1,934	△0.8	7	△92.3	13	△87.4	8	△87.5
日本テレビ音楽	2,926	11.2	429	20.1	621	55.8	474	78.6
ハップ°	6,646	90.8	△2	-	40	-	△224	-
日本テレビサービス	922	△8.1	15	△73.8	26	△62.6	17	△60.9
日本テレビワーク24	912	△5.7	23	4.5	24	5.5	15	22.9
フォアキャスト・コミュニケーションズ*	697	△9.1	31	130.0	62	230.4	37	413.9
日テレ7	1,653	18.9	132	29.4	134	26.9	64	△4.3
タツノコプロ	350	1.4	15	3.6	17	10.8	1	△80.9
HJホールディングス	2,788	61.5	△808	-	△841	-	△842	-
ティップネス	8,932	-	849	-	767	-	509	-

*前年もしくは今年損失計上の場合、増減率は「-」表記します。ティップネスは2014年度第3四半期末から連結のため、前年比較がありません。

業績予想と前提

2015年度連結業績予想

(百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
第2四半期	前回発表	199,000	17,000	21,000	12,600
	今回発表	200,000	19,000	22,000	13,500
通期	前回発表	400,000	44,000	50,000	31,600
	今回発表	401,000	45,000	50,000	31,600

地上波放送収入 予想の前提(前年同期比)

	上期予想		下期予想		通期予想	
	前回発表	今回発表	前回発表	今回発表	前回発表	今回発表
地上波放送収入	0.1%	1.6%	0.6%	1.2%	0.4%	1.4%
タイム	△1.8%	△0.1%	△0.4%	0.7%	△1.1%	0.3%
スポット	1.9%	3.2%	1.6%	1.6%	1.7%	2.3%

2015年「年間」視聴率

期間: 2014/12/29～2015/07/26

* 表示は左からデジタルチャンネル順

	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位局との差 (昨年の差)
全日	① 8.8	6.9	5.9	3.0	6.5	+1.9
	(+0.5)	(Δ0.4)	(±0.0)	(Δ0.2)	(Δ0.4)	(+0.9)
プライム	① 12.8	11.2	9.6	6.4	9.5	+1.6
	(+0.5)	(Δ0.2)	(+0.1)	(Δ0.6)	(Δ0.7)	(+0.7)
ゴールデン	① 13.0	11.0	9.6	6.7	9.3	+2.0
	(+0.6)	(+0.2)	(±0.0)	(Δ0.8)	(Δ0.7)	(+0.4)

* 世帯視聴率・ビデオリサーチ調べ

2015年「年度」視聴率

期間:2015/03/30～2015/07/26

* 表示は左からデジタルチャンネル順

	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位局との差 (昨年の差)
全日	① 8.4	6.7	5.7	2.9	6.2	+1.7
	(+0.2)	(Δ0.3)	(±0.0)	(Δ0.2)	(Δ0.4)	(+0.5)
プライム	① 12.3	10.6	9.6	6.3	9.0	+1.7
	(+0.2)	(Δ0.1)	(+0.2)	(Δ0.5)	(Δ0.8)	(+0.3)
ゴールデン	① 12.3	10.4	9.6	6.5	8.9	+1.9
	(+0.2)	(+0.3)	(+0.1)	(Δ0.7)	(Δ0.8)	(Δ0.1)

* 世帯視聴率・ビデオリサーチ調べ

2015年「年間」視聴率上昇

期間:2014/12/29～2015/07/26

	全日	プライム	ゴールデン	ノンプライム	プラチナ
	6時～24時	19時～23時	19時～22時	全日ープライム	23時～25時
日テレ	①8.8%	①12.8%	①13.0%	①7.7%	①7.4%
前年同期比	+0.5%	+0.5%	+0.6%	+0.5%	+0.6%

* 世帯視聴率・ビデオリサーチ調べ

2015年度 10月改編について

☆10月改編方針

- ・継続的全ゾーン制覇のための基盤強化
- ・総合コンテンツ戦略の推進

◎レギュラー番組重視の戦略は継続

◎「次なるキラークンテンツ」・「次なるエースクリエイター」の育成を意識

◎3波＋配信＋海外展開を見据えた、ドラマコンテンツを中心とする総合コンテンツの開発に取り組む



次頁から
補足資料です

営業収入 -日本テレビ放送網-

(百万円)

	2014年度 第1四半期	2015年度 第1四半期
放 送 収 入	58,840	59,210
タ イ ム	28,023	27,436
ス ポ ッ ト	30,816	31,773
番 組 販 売 収 入	2,666	2,841
事 業 収 入	8,560	10,752
不 動 産 賃 貸 収 入	674	574
合 計	70,741	73,377

営業費用 - 日本テレビ放送網 -

(百万円)

	2014年度 第1四半期	2015年度 第1四半期
番組制作費	25,825	23,865
支払電波料	7,248	7,278
代理店手数料	9,976	10,067
人件費	5,364	5,446
減価償却費	1,602	1,735
事業費	6,871	8,596
諸経費	6,026	5,731
合計	62,915	62,721

スポット業種別売上シェア -地上波(日本テレビ放送網)-

2014年度 第1四半期		シェア	増減率 (%)	2015年度 第1四半期		シェア	増減率 (%)
1	化粧品・トイレタリー	15.3	17.4	化粧品・トイレタリー	18.2	23.4	
2	運輸・通信	10.9	48.8	運輸・通信	10.6	△0.2	
3	非アルコール飲料	7.7	△13.5	非アルコール飲料	6.8	△8.1	
4	サービス	7.4	70.0	サービス	6.1	△15.7	
5	薬品	6.7	24.8	薬品	5.7	△11.6	
6	輸送機器	5.7	△13.6	輸送機器	5.3	△3.5	
7	金融・保険業	5.6	1.9	金融・保険業	4.9	△10.5	
8	電気機器	4.8	△29.3	映画・演劇興行	4.6	3.1	
9	アルコール飲料	4.8	5.3	卸売・百貨店	4.1	26.6	
10	映画・演劇興行	4.6	34.2	電気機器	4.1	△13.0	

* 増減率は実績の前年同期比。内部管理数値です。

日本テレビ放送網事業収支

2015年度 第1四半期 事業種別収支

(百万円)

	収入	費用
有料放送	2,339	969
ライツ	468	263
通販	2,213	2,047
映画	2,539	2,581
イベント	1,460	1,249
海外ビジネス	320	144
その他	1,413	1,343
合計	10,752	8,596

設備投資と減価償却

(億円)

2015年度 1Q	設備投資額	減価償却費
連結	25	28

連結予想	設備投資額	減価償却費
2015年度	319	111
2016年度	166	125
2017年度	304	149

* 予想数値は内部管理の数値です。

セグメント別 実績

(百万円)

2015年度 第1四半期	報告セグメント				その他	合計	調整額	連結 損益計算書 計上額
	コンテンツ ビジネス事業	生活・健康 関連事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高	90,261	8,932	2,383	101,577	936	102,514	△2,230	100,283
セグメント利益	11,120	472	925	12,519	29	12,548	△137	12,411

事業区分	主な事業内容
コンテンツビジネス事業	テレビ広告枠の販売、有料放送事業、動画配信事業、映像・音楽等のロイヤリティ収入、パッケージメディア等の販売、通信販売、映画事業、イベント・美術展事業、コンテンツ制作受託
不動産賃貸事業	不動産の賃貸、ビルマネジメント

2015年度 映画事業 今後の主なラインナップ

公開	作品名	配給	備考
7/11	☆「バケモノの子」	東宝	細田守監督作品がこの夏満を持して登場。「おおかみこどもの雨と雪」に続く超大型エンターテインメント作品。
9/19	☆「ヒロイン失格」	ワーナー	女子高生のリアルな振る舞いに、胸キュン&共感&爆笑必死の学園ロマンチックコメディ。桐谷美玲、山崎賢人他。
10/31	☆「俺物語」	東宝	2013年「このマンガがすごい！」オンナ編第1位、講談社漫画賞少女部門受賞、大ヒット最強コミックが待望の実写化！
12/5	☆「杉原千畝」	東宝	終戦70周年記念。ユダヤ難民にビザを発給し6000人の命を救った日本のシンドラ—杉原千畝の知られざる物語。
2016年 1/9	☆「人生の約束」	東宝	巨匠・石橋冠初監督作品。富山・新湊を舞台に人生の喜びと悲しみを描く究極の人間ドラマ。大物キャストینگが続々決定。
2016年 1月予定	☆「さらば あぶない刑事」	東映	放送開始から30年！あのヒットテレビシリーズ、最後の映画化！定年なんてクソくらえ！ハマの伝説デカの最後はいかに？
2016年 3月予定	☆「ちはやふる 上の句」	東宝	コミック累計1,200万部の超人気原作が待望の実写化！競技かけるたにかける少女の情熱と夢を描く、二部作の第一弾。

☆幹事作品

2015年度 直近の主なイベント予定

	期間	イベント名	内容
美術展	9/19～ 12/13	マルモッタン・モネ美術館所蔵 「モネ展」ー「印象・日の出」から「睡蓮」までー	印象派の巨匠モネ。印象派の語源となった歴史的 名画「印象・日の出」ほか、約90点をパリ、マルモッ タン・モネ美術館から。@東京都美術館、以後福岡、 京都、新潟に巡回
舞台・ 音楽	7/15～8/2	ブロードウェイ・ミュージカル 「天使にラブ・ソングを～シスター・アクト～」	ウーピー・ゴールドバーグ主演の大ヒット・コメディ映 画が、世にもハッピーなミュージカルになって帰って くる！ @東急シアターオーブ
	7/18-22 8/20-24	ディズニー・オン・アイス2015 日本公演30周年記念 「アメイジングアニバーサリー」	30年目を迎える夏の恒例イベント。「アナと雪の女 王」も加わり話題沸騰。@国立代々木競技場第一 体育館7月、横浜アリーナ8月
	7/24～ 8/30	細田守監督作品 「バケモノの子展」	「時をかける少女」「サマーウォーズ」「おおかみこもの 雨と雪」の大ヒットに続く、細田守監督最新作「バケモノ の子」。その世界観を体験、体感。@渋谷ヒカリエ
	8/19-25	「七人ぐらいの兵士」	主演・明石家さんま×作・生瀬勝久×演出・水田信 生の伝説の舞台が、15年の時を越えこの夏蘇る！ @シアターBRAVA!